

福祉

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福 祉	コミュニケーション技術	2	2年次・F1群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
コミュニケーション技術（実教出版）		介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 介護Ⅰ（中央法規）		福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
対人援助について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学 期	学 習 内 容（単元・項目）	月	学 習 の ね ら い	評 価 の 観 点
	1 学 期	第1編 福祉実践におけるコミュニケーション 第2編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション	4	・自己理解、他者理解や人間関係におけるコミュニケーションの意義と役割について理解する。 ・コミュニケーションの特性と効果的なコミュニケーションの技法について理解する。	1 2 2 3
			5	・コミュニケーションの分類と特徴について理解する。	1 2 3
			6	・相手の話を聞く時の態度と方法について理解する。 ・対人援助を行う際の具体的なコミュニケーションの技術について理解する。 ・集団におけるコミュニケーションの特徴について理解する。	1 2 3 2
			7	・利用者や家族とよりよくかかわるためのコミュニケーションについて理解する。 ・利用者や家族の支援に必要なコミュニケーションの方法について理解する。	2 3 2 3
	2 学 期	第2編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション 1 高齢者とのコミュニケーション 2 障害とコミュニケーション 3 視覚障害のある人とのコミュニケーション 4 聴覚障害のある人とのコミュニケーション 5 言語障害のある人とのコミュニケーション 6 運動機能障害のある人とのコミュニケーション 7 知的障害のある人とのコミュニケーション	9	・高齢者の特性とコミュニケーションの方法について理解する。 ・障害に応じたコミュニケーションの必要性について理解する。	2 3 1 2
			10	・視覚障害のある人との適切なコミュニケーションの方法について理解する。 ・聴覚障害のある人との効果的なコミュニケーションの方法について理解する。	1 2 1 2
			11	・言語障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。 ・運動機能障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。 ・知的障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。	1 2 1 2 1 2

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

			8 発達障害のある人とのコミュニケーション 9 高次脳機能障害のある人とのコミュニケーション 10. 精神障害のある人とのコミュニケーション 8 認知症の人とのコミュニケーション	12	・発達障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。 ・高次脳機能障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。 ・精神障害のある人とのコミュニケーションの方法について理解する。 ・認知症の特徴と適切なコミュニケーションの方法について理解する。	1 2 1 2 1 2 1 2
	3 学 期	第3編 福祉実践におけるチームのコミュニケーション	第1章 記録 1 記録の意義と目的 2 記録の種類 3 記録の方法と管理 第2章 チームによる連携 1 チームのコミュニケーション 2 情報の共有化 3 会議	1 2 3	・介護記録の重要性と記録の役割や機能について理解する。 ・介護の現場で用いられている記録の種類と内容について理解する。 ・読みやすくわかりやすい記録の書き方について理解する。 ・介護におけるチームのコミュニケーションの意義と目的について理解する。 ・情報を共有する意義と目的、正しい情報共有の方法について理解する。 ・会議の目的と方法について理解する。	1 2 1 2 1 2 2 3 2 3 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技術		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○教科書の内容等を理解できているか。 ○福祉に係る技術を身に付けているか。		○学習内容を適切に活用し、表現できているか。 ○学習内容を関連付けて考えることができているか。 ○福祉に関する課題を発見し、福祉専門職としての倫理観を踏まえて解決する力を身に付けているか。		○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に課題解決に向けて、取り組んでいるか。 ○自らの学習や生活に生かそうと意欲をもって取り組んでいるか。
	手 段	・ワークシート、ノート、課題 ・定期考査、小テスト ・授業態度		・ワークシート、ノート、課題 ・定期考査、小テスト ・授業態度		・ワークシート、ノート、課題 ・定期考査、小テスト ・授業態度
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点	・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。 ・提出物は内容を確認し、できていることを確認して期日厳守で提出すること。 ・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。					